

講義名	経営統計学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	多井 剛		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
<p>本講における経営統計とは、競合他社と自社の財務内容に関する統計と、それに基づいた収益性、成長性、安全性などを示す一連の分析的指標および自社市場の生産、出荷、在庫、販売などの状況さらに海外、国内の景気動向を表す統計結果とします。</p> <p>本講では経営課題のひとつである「合理化」に対して経営統計をどのように利用するのか論じます。</p>

到達目標
<p>受講生は組織に於いて正しいデータの扱い方と統計結果の表示方法、正しい統計の判別ができることを目標とします。これによって、将来は優れた経営判断のサポート人材になることを目指します。</p>

提出課題
<p>理解度を測るために、小テストやレポートなどの課題を課することがあります。</p>

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
<p>クラスの理解度に応じて授業内容を調整します。</p>

評価の基準
<p>提出課題の内容を総合的に評価します。提出課題の不提出は即不合格になります。</p>

履修にあたっての注意・助言他
<p>良い成績を修めるには、RYUKA Portalでの配布資料のほかに、ノートを書くことが必要です。配布資料上にノートを書くためにタブレットPCなどを活用するのはよいことです。</p>

教科書
<p>. 使用しない。</p>

プリント資料及び参考文献
<p>講義内容は事前にRYUKA Portalの講義連絡に保存して学生と共有します。</p>

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. データサイエンスと統計学 2. データサイエンスに求められるスキルや知識 3. データ解析ビジネス 4. ビックデータと機械学習 5. PPDACサイクル 6. 統計分析の概念1（変数の選択） 7. 統計分析の概念2（変数の比較） 8. 統計分析の概念3（可視化1） 9. 統計分析の概念4（可視化2） 10. 統計手法1（相関関係） 11. 統計手法2（時系列） 12. 統計手法3（予測とモデル評価） 13. 分析結果の評価 14. 政策と統計 15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<p>ア：PBL（課題解決型学習）</p> <p>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</p> <p>ウ：ディスカッション、ディベート</p> <p>エ：グループワーク</p> <p>オ：プレゼンテーション</p> <p>カ：実習、フィールドワーク</p>

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>授業で使う資料は、RYUKA Portalの講義連絡にて事前に配布しますので、予習・復習に利用してください。</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考